

## <執筆要項>

1. 原稿は、A4の用紙に**40字×40字×15枚以内**（平うち）で作成してください。  
16枚以上の原稿は受け付けません。
2. 言語は、**英語**です。
3. 余白は**上3cm、左、右、下は2cm**にしてください。
4. フォントサイズは**本文10.5、タイトル14、サブタイトル10.5**です。  
字体は**century**を用いてください。
5. **タイトルは2行目から書き始めてください。**  
また、タイトル（サブタイトルがある人はサブタイトル）と名前の間は1行あけてください。
6. 所属、著者名は、**所属、姓、名の順**で書いてください。  
所属は、大学のHPなどをよく確認して書いてください。  
**姓はすべて大文字で、名は最初の一文字のみ大文字**、後は小文字で書いてください。  
例：TOKUDA Katsumi
7. Introductionなどの本文の見出しの階層は、**ローマ数字（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・・・）**を用いてください  
さらに、本文中で階層つける場合には、（1）、（2）、（3）・・・を、その次は①、②、③・・・  
を用いてください。  
なお、自動の段落番号（改行すると自動的に番号が現れる機能）を使わないでください。
8. **図表番号の後に読点“.”**をつけてください。  
例：Table1. The respondents' experience reading
9. **図表、写真は本文の後ろにつけてください**（本文中に入れ込まないでください。また別のファイルにしないでください。差し込む際に、レイアウトが崩れます）。  
また、別のファイルで作成した図表を「図としてコピー」して貼り付けること（ワード上で編集ができない状態）はやめてください。  
なお、**本文中の挿入を希望する箇所にコメント機能で表示**してください。ただし、ページレイアウトの都合上、ご希望に添えないことがありますので、ご了承ください。
10. 本文中の文献の引用は、以下のようにお願いします。
  - ・著者名は、**姓の最初の一文字のみ大文字**で書く。
  - ・**著者が2人**の場合は、引用のたびごとに**全著者の姓**を書く。
  - ・**著者が2人**である場合に、文中に文章として入れる際および括弧内に文献を示す際ともに、**著者名の間は“&”**で結ぶ。  
例：Rogan & Ranson (2019) showed・・・
  - ・**著者が3人以上5名以下**の場合は、**初出の際には全著者の姓**を書く。その際に、**最後の2人**の間は**“&”**で結び、それ以前は“,”で結ぶ。
  - ・2度目以後は、第1著者の姓を書き、その他の著者は“et al.”と略す。

例：初出（文中に文章として入れる場合）

Ellem, Wilson & Williams (2019) showed . . .

初出（括弧内に文献を示す場合）

(Ellem, Wilson & Williams, 2019)

2 度目以降（文中に文章として入れる場合）

Ellem et al. (2019) showed . . .

2 度目以降（括弧内に文献を示す場合）

(Ellem et al., 2019)

- ・ 著者が6名以上の場合には、初出の場合にも第1著者の姓を書き、その他の著者は“et al.”と略す。

11. Web上の資料の引用はできるだけ避けてください。やむを得ず引用する場合には、削除される可能性があるため、必ずコピーを取って保管し、閲覧日を記録しておいてください。なお編集委員から請求があった場合には、コピーを提出してください。

12. 論文の最後に文献を一括して示してください。また、以下のようにお願いします。

◇論文の場合

#### 【記載順】

- ・ 雑誌の場合：著者名、刊行年次、表題、雑誌名、巻、号、ページ
- ・ 著書の場合：著者名、刊行年次、表題、出版社（出版社が外国の場合は所在地を含む）
- ・ 著書の分担執筆の場合：著者名、刊行年次、表題、編者名、著書名、出版社（出版社が外国の場合は所在地を含む）、ページ

#### 【著者名】

すべての著者について、姓を先に、名を後に書いてください。なお、著者名は、**Surname**（苗字）は大文字で、**First name**（下の名前）はイニシャル+半角のピリオドを用いてください。また、ピリオドの後は必ず半角スペースをつけてください。また、各著者をコンマで区切り、最後の著者の前に&をおきます。

#### 【書体】

基本的に本文と同じ書体ですが、**雑誌名のみイタリック体**にしてください。巻数をゴチック体にはしてはいけません。

#### 【表題】

論文の場合には、名詞、代名詞、動詞、形容詞、従属接続詞、副詞を大文字にし、冠詞、前置詞、不定詞は小文字にしてください。

例：AHEARN H., CASTINE T., NAULT K. & GREEN, G. (2001) An Assessment of Food Acceptance or Pervasive Developmental Disorder: As examples of Persons with autism,

◇Web 上の資料の場合

【記載順】

- Web 上の資料の場合：著者名、年号、資料題名、<URL>、（資料にアクセスした日）

例：American Psychological Association(2004) APA topic: ADHD. American Psychological Association <[http://www.apa.org/topics/topic\\_adhd.html](http://www.apa.org/topics/topic_adhd.html)> (February 25, 2016)

13. 引用文献の後に英文抄録を必ずつけてください。英文抄録は 200 字程度でお願いします。

14. 投稿の際には、論文の種類を明記してください。

論文の種類は、「原著：Article」「資料：Methodological Advancement」「意見：Opinion」の 3 種類です。

なお、「資料」とは、試行的あるいは予備的に行った研究であり、結果を一般化するにはデータ数が不足している場合や論文としての分量が不足している場合を含みます。決して、原著よりも劣っているというわけではありません。「意見」とは、先行研究や自身の実践をもとにご自身の意見を述べた記述を指します。

審査の際には、投稿された論文の種類に基づいて行います。そのため、筆者が「原著」を希望した場合に、審査結果は「資料」や「意見」であれば掲載する”などの論文の種類を変えることはありません。つまり、「原著」を希望して投稿しても、審査員が「原著」としての論文に値しないと判断した場合には、不採択となりますので、投稿の際にはよく考えてご自身の論文の種類を決めてください。

15. 投稿の際には、メールでお送りください。ワードと PDF を送ってください。容量が大きいなどのやむを得ない場合には、ご相談ください。

【投稿先】

E-mail : [theasianchildcare@yahoo.co.jp](mailto:theasianchildcare@yahoo.co.jp)

16. 日本人が投稿する際には、別ファイルで、本文の日本語訳をつけてお送りください。

17. 投稿にあたり、投稿料を納入していただきます。

【投稿料】 7000 円

投稿前に、上記のアドレスにご連絡ください。振込先をお伝えします。

18. 掲載後には、掲載料を納入していただきます。

【掲載料】 30,000 円

(2020 年 2 月現在：280 アメリカドル、330,000 韓国ウォン、2000 中国元、8300 台湾ドル)

雑誌の発行後にお振込みいただきます。